

# 保健医療と社会

## 1 担当教員名

教授・医師	一 杉 正 仁	(社会医学講座(法医学部門))	非常勤講師		
特任准教授	北 原 照 代	(社会医学講座(衛生学部門))	木 村 隆	(一般社団法人 近畿健康管理センター 理事長)	
助 教	高 相 真 鈴	(社会医学講座(法医学部門))	別 府 賢	(京都医療センター 救急集中治療科長・救命救急センター副センター長)	
助 教	中 村 磨 美	(社会医学講座(法医学部門))	上 原 里 程	(京都府立医科大学 地域保健医療疫学 教授)	

## 2 配当学年等

第6学年 前期

## 3 学習目標

基礎医学と臨床医学の他に、社会医学という領域がある。社会に関する医学を扱うため、地域や国を対象にした医学的事項、関連法規に基づく運用などを主に学ぶ。臨床医学の知識を得て、さらに実習で医療現場の実情を理解した段階で、改めて社会と医療に関する事項を学び、医師となる来年に実践できる準備を整えて頂きたい。

## 4 授業概要

医学教育分野別評価基準日本版(WFMEグローバルスタンダード2012年版準拠)によると、卒前教育のなかで行動科学、社会医学、医療倫理学、医療関連法規について実践しなければならないと定められている。

さらに、日本の医師国家試験においても、公衆衛生学、衛生学、法医学、医療倫理といった社会医学関連の問題が多く出題されている。この領域の問題は、近年、相当数が出題されており、その割合は増加しつつある。第109回以降では、全問題の15~18%が社会医学関連であり、特に必修領域のうち20.0%程度をしめる。したがって、これらの問題を正確に解答出来るかどうか、医師国家試験合格の鍵を握っているといっても過言ではない。

したがって、本ユニットでは、社会と医療に関する内容について、主として過去の国家試験出題内容を中心に、まとめの講義を行い、その後演習として問題解答を行う。

## 5 授業内容

主として国家試験既出問題を対象とし、ポイントを概説してから各自演習を行う。1コマの授業に対して、30分の予習と60分の復習を日常的に行い、休日などを利用して、さらに1コマ当たり90分の復習が望まれる。

回	年月日(曜日)	時限	担当教員	項目	内容	教室
第1回	令和3年4月5日(月)	1	一 杉	卒前教育における社会医学の重要性	医師として具有すべき最低限度の社会医学的知識等をまとめるとともに、国家試験に向けた社会医学の学習法を概説する。	① ② ③
第2回	令和3年4月5日(月)	2	〃	医事法制と医療倫理	医師のプロフェッショナリズムを理解した上で、法で定められていること及び正しい倫理的思考を学ぶ。	① ② ③
第3回	令和3年4月5日(月)	3	〃	死と終末期ケア	終末期医療の問題点を把握し、適切な対応を学ぶ。また、死亡に伴う手続き、書類の作成が行えるようにする。	① ② ③
第4回	令和3年4月5日(月)	4	一杉、高相、中村	演習1	前記3回分の講義に基づいた問題演習をe-ラーニングの設備を用いて行う。	MMC
第5回	令和3年4月6日(火)	1	上 原	疫学・公衆衛生概論1	疫学および公衆衛生全般について医師として身に着けるべき知識を概観する。	① ② ③
第6回	令和3年4月6日(火)	2	〃	疫学・公衆衛生概論2	診療科や専門領域を問わず、プライマリーケアに必要な検査の内容と基本の手技を学ぶ。	① ② ③
第7回	令和3年4月6日(火)	3	一 杉	保健統計と医療関連法規	医師法、医療法その他、医療関係法規に定められていることを理解する。また、代表的な保健統計を把握する。	① ② ③
第8回	令和3年4月6日(火)	4	北 原	環境保健と産業医学について	世界的な環境問題を理解し、健康に及ぼす影響を考える。また、労働安全衛生を中心とした産業保健の重要性を学ぶ。	① ② ③

回	年月日(曜日)	時限	担当教員	項目	内容	教室
第9回	令和3年4月7日(水)	1	木村	地域医療と社会保障制度	地域医療の現状と問題点を把握し行政の役割を理解する。さらに、医師会の役割についても学ぶ。	① ② ③
第10回	令和3年4月7日(水)	2	一杉	医療安全と社会安全	セーフティプロモーションの概念を理解し、事故予防対策を理解する。 また、医療事故に対するわが国の対応について学ぶ。	① ② ③
第11回	令和3年4月7日(水)	3	別府	救急医療と中毒	中毒を引き起こす主たる原因物質を理解し、治療と予防について学ぶ。 また、わが国の救急医療体制について理解する。	① ② ③
第12回	令和3年4月7日(水)	4	一杉、高相、中村	演習2	前記の講義に基づいた問題演習をe-ラーニングの設備を用いて行う。	MMC
第13回	令和3年4月8日(木)	1	〃	演習3	前記の講義に基づいた問題演習をe-ラーニングの設備を用いて行う。	MMCブ
第14回	令和3年4月8日(木)	2	〃	演習4	前記の講義に基づいた問題演習をe-ラーニングの設備を用いて行う。	MMCブ
第15回	令和3年4月8日(木)	3	〃	演習5	前記の講義に基づいた問題演習をe-ラーニングの設備を用いて行う。	MMC
第16回	令和3年4月8日(木)	4	〃	演習6	前記の講義に基づいた問題演習をe-ラーニングの設備を用いて行う。	MMC
第17回	令和3年4月9日(金)	1	〃	演習7	前記の講義に基づいた問題演習をe-ラーニングの設備を用いて行う。	MMC
第18回	令和3年4月9日(金)	2	〃	演習8	前記の講義に基づいた問題演習をe-ラーニングの設備を用いて行う。	MMC
第19回	令和3年4月9日(金)	3	〃	演習9	前記の講義に基づいた問題演習をe-ラーニングの設備を用いて行う。	MMC
第20回	令和3年4月9日(金)	4	〃	演習10	前記の講義に基づいた問題演習をe-ラーニングの設備を用いて行う。	MMC
第21回	令和3年4月16日(金)	3	〃	試験 (13:00~14:00)	社会医学に関する国家試験問題を前提とした試験問題を正しく理解し、解答できるようにしてもらいたい。	臨3

## 6 授業形式・視聴覚機器の活用

最初の3日間で重要な点を講義する。パワーポイントで概説し、必要に応じて補助プリントを配布する。残りの時間は、e-ラーニングによる演習形式で、過去に出題された社会医学関連の国家試験問題を行う。

## 7 評価方法

最終日において試験を実施する。試験と講義の出席回数を勘案して可否を判定する。試験は、演習で行った国家試験出題問題の類題を出題する。出欠は、講義時に厳格に確認する。なお、不正行為を行った者は、ただちに不合格扱いとする。

## 8 テキスト

- ①クエスチョン・バンク 医師国家試験問題解説 2020 vol.6 公衆衛生 (MEDIC MEDIA)
- ②国試114 第114回医師国家試験問題解説書 (TECOM出版)
- ③臨床事例で学ぶ医療倫理・法医学 (TECOM出版)

## 9 テキストISBN番号

- ①クエスチョン・バンク 医師国家試験問題解説 2020 vol.6 公衆衛生 978-4-89632-778-6
- ②国試114 第114回医師国家試験問題解説書 978-4-86399-467-6
- ③臨床事例で学ぶ医療倫理・法医学 978-4-86399-376-1

## 10 オフィスアワー (授業相談)

常識のある範疇で、できるだけ対応したい。

## 11 学生へのメッセージ

集中して学び、国家試験への準備を兼ねてもらいたい。

## 12 授業用URL

<http://www.shiga-med.ac.jp/~hqlegal/>